



# 長樂寺

## だより



十一月十一・十二日

晋山特別号  
編者・長樂寺  
住職  
安達 瑞樹

### 御礼の、あいさう

この度の晋山結制式にあたり、壇信徒の皆様をはじめ、関係各位には温かいご法愛ご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

この盛儀をめでたく執り行うことができましたことは、ひとえに壇信徒並びに縁者の方々の絶大なご協力と仏天のご加護の賜と深く感謝申し上げます。

本堂前の角塔婆に「寺檀和敬」と書いてございます。住職と壇信徒とが共に手を取り合い、仏法の興隆、長楽寺と各家の益々の繁栄を願い建てさせていただきました。

壇信徒皆様には、今後とも尚一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げて、御礼の言葉と致します。

長樂寺第十二世住職 安達瑞樹合掌  
壇信徒総代一同合掌



平成十八年十一月十一日

二時より



導師をお勤め頂きました、奈良県藏心寺ご住職 雨宮義幸老師



神応寺総代さまにもお参りいただきました。



○三時半より  
土地堂念誦  
長楽寺守護の土地堂さまに今回  
の大法要の無事を祈念いたします。

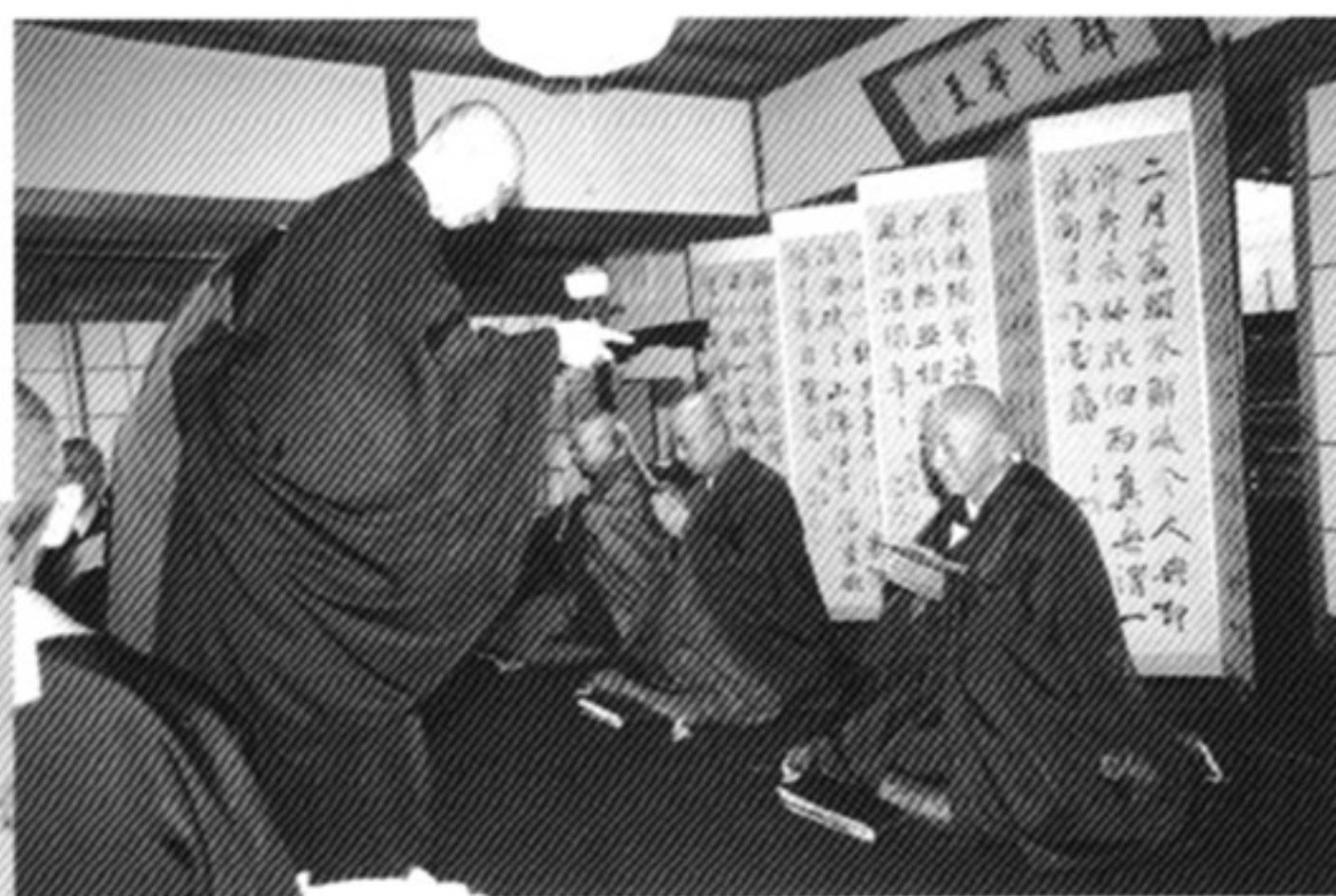


○三時より  
首座(しゅそ)入寺式  
本堂を坐禅堂に見立て英寿立僧  
が首座和尚となられるお式です。  
首座和尚とは、結制修行の期間中  
すべての行事を修行僧の先頭に立  
つてお勤めされる和尚様のことです。

## ○四時より

## ●本則・配役行茶

結制法要の配役伝達と首座和尚の任命、首座法戦式の主題である本則について西堂老師にお話しいただき、皆さんでお茶を頂きました。



お話を頂いた本寺洞光寺吉田悠記老師

○薬石（祝麵）  
古来より禅寺では大きな法要や祝い事のある前夜には全員でうどんをいただく習わしがあります。

参列いただいたお檀家の方にも  
ご一緒にお席についていただきました

●晋山式とは  
「晋山」の晋とは進むという意味で、つまり山に進むということです。どのお寺にも山号があり、長楽寺は如意山です。新たに任命された住職（新命住職）がお寺に正式に就任する儀式のことです。

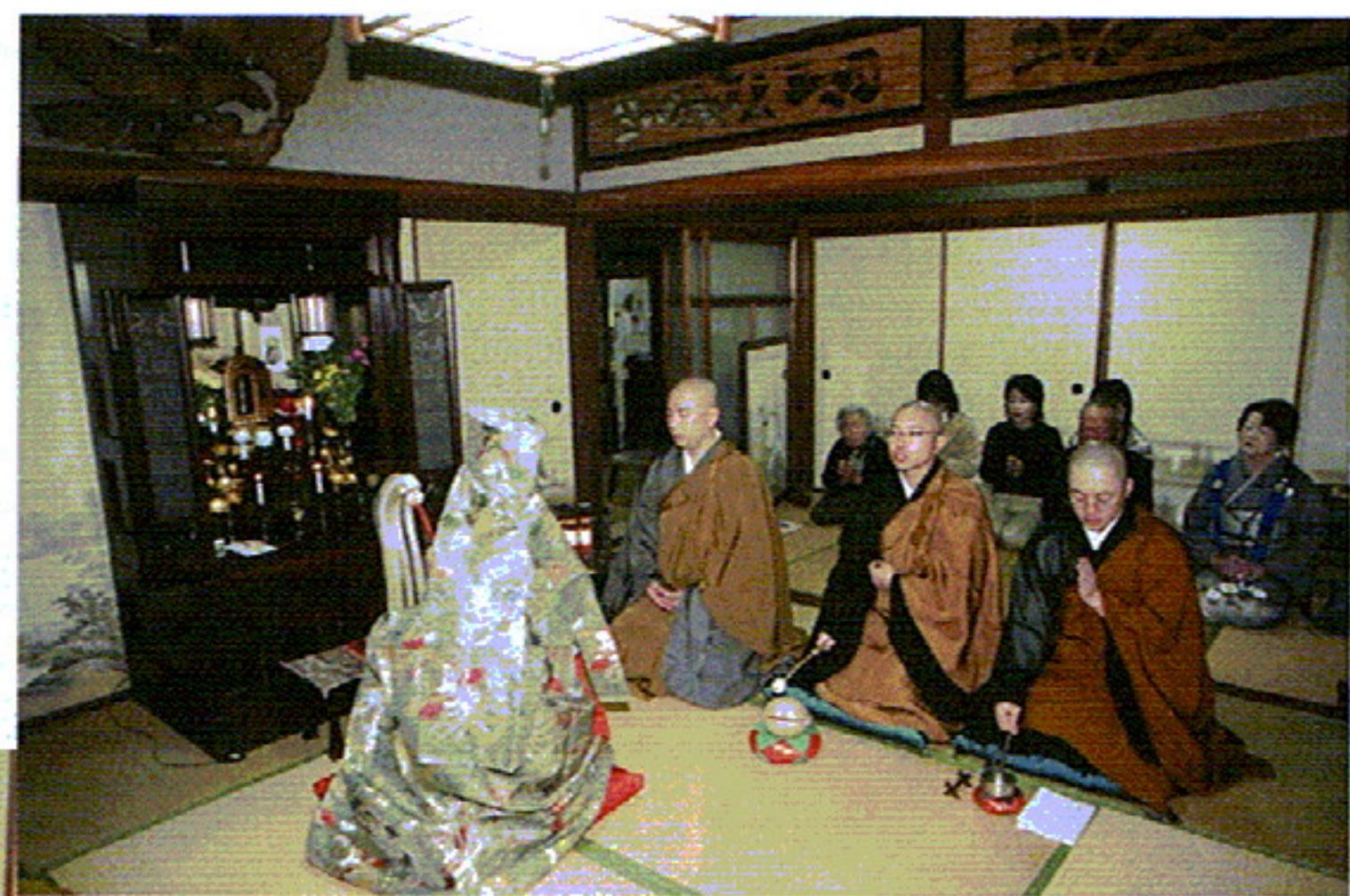
当日は、安下処を筆頭総代である河南義弘様にお世話をになりました。お天気を心配しておりますが、六十七名のお稚児さん、僧侶、役員、梅花講の方々総勢百三十名の行列が出発するころには雨も上がりました。

新命住職は山門頭に到着後、香を焚き法語を唱え、太鼓の響く中、本堂へと入りました。

管長様より住職の辞令をいただき、「ご本尊さま、当山の伽藍をお守り下さる大権修理菩薩さま、達磨大師さま、当寺の御開山、歴代の住職さまざまそれぞれの前で香を焚き、晋山のごあいさつをしました。



○平成十八年十一月十二日  
〇七時半 安下処にて



お茶をいただいた後、  
ご先祖のお供養をさせていただきました。



安下処をお世話になった河南義弘様ご夫妻

○八時半 安下処出発



六十七名のお稚児さんに参加いただき、  
総勢約百三十名の行列となりました。

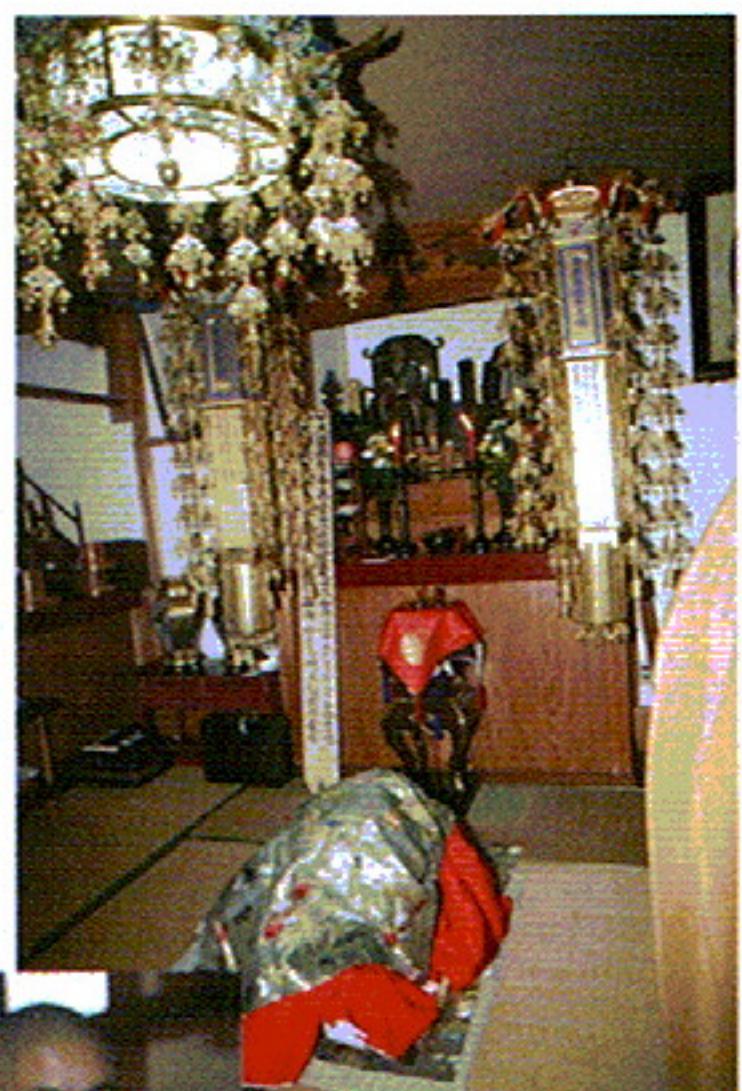


○○ 晋山式  
九時 山門頭到着

香を焚き山内に入る決意を述べます。



・御開山・歴代住職さまにお拝



● 晋山開堂とは

新命住職は就任して、この道場においてこれより仏法の教えを広く説くことを宣誓するために、御本尊様をおまつりしている高い須弥壇の上に登ります。はじめに香を焚き、国土の安穏と仏法の興隆を願い、併せて壇信徒各家の益々の繁栄を願います。次に一問一答の問答のかたちをもつて仏法の教えを説きます。終わって感謝の言葉を述べ、祖師の言葉を引き、説法の締めくくりを致します。

そもそも結制とは、かつてインドにお釈迦さまご存命の頃、雨期になると外に出ての修行もままならず、一力所に集まりお釈迦さまの説法を聞いたり問答をする雨安居といいます。九十日間の修行期間がありました。その期間中大変多くの人が集まりますので、多くの取り決めごと「制」を結んで、共に生活をしていました。今でも本山など多くの修行僧の集まっているお寺では古式に則り、年一回修行されています。



梅花講のみなさんもお唱えいただきました

・御本尊さまにお拝



● 結制とは





○ 九時半 晉山開堂式

・拈香

須弥壇（本堂正面の壇上）にあがり、四つの香を焚き、感謝と願いの言葉を述べます。

・問訊（もんじん）  
問答を始める挨拶をいただきます。



・問答開始  
新任住職が問答のかたちをもつて仏法を説きます。

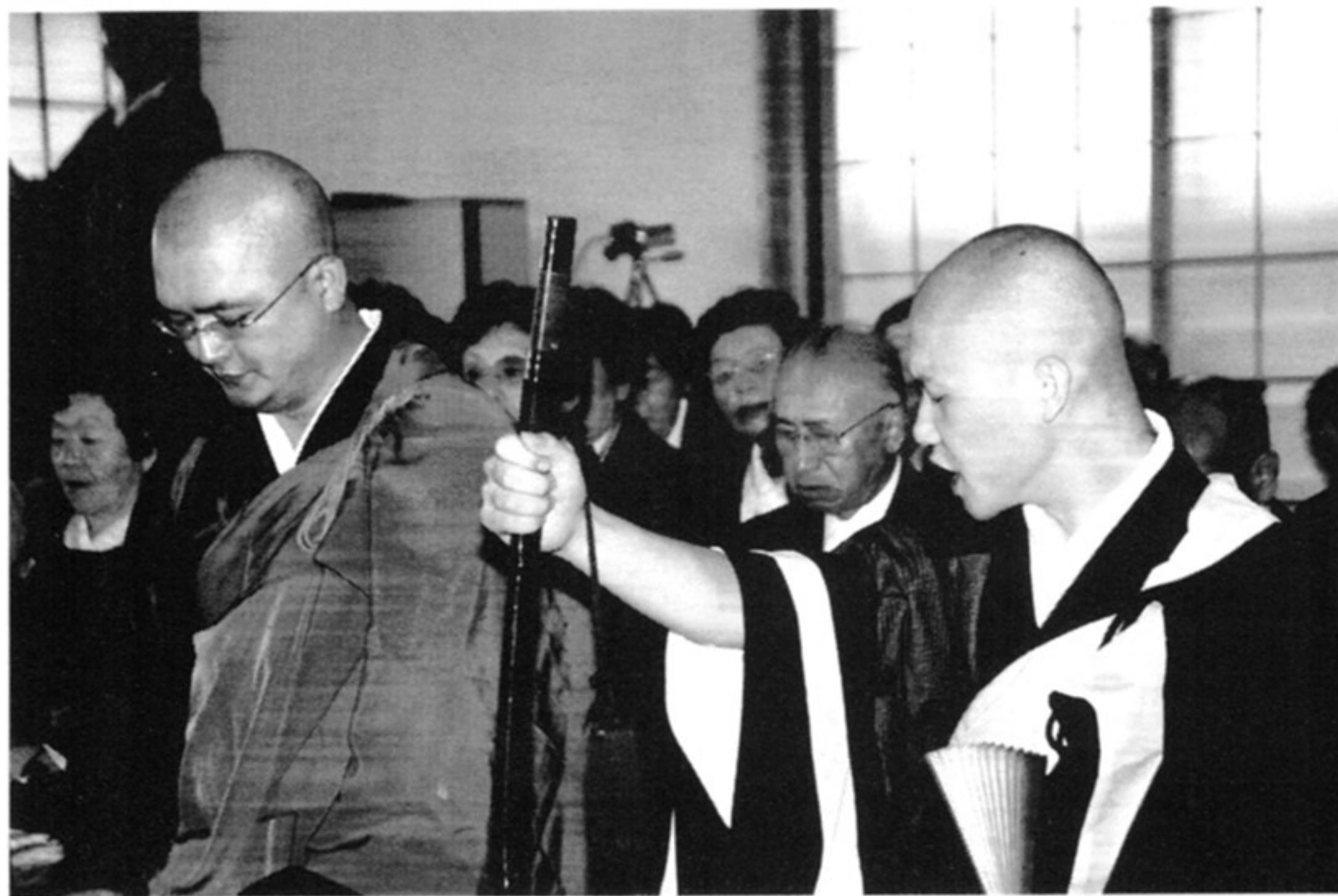


壇信徒を代表して伊熊丈夫様にご祝辞をいただきました。

・祝辞  
お祝いのお言葉を頂戴しました。



・白槌（びやくつい）  
西堂老師は問答の終わりを告げます。



首座をお勤めいただいた神崎郡神河町 田中英寿さん

○十時半 首座法戦式  
新命住職に代わって首座和尚  
(制中の筆頭修行僧)が問答を戦  
わす儀式です。



弁事という大役をお勤めいただいた小林寺 飯田慈門くん

せま 信し  
て いたきました。  
この度の晋山結制の大法要に際  
し、大勢の御寺院様方によつて、壇  
信徒の皆さま、参詣いただいた皆さ  
まのご先祖に心からなる供養をさ

本師(お父様)が亡くなつておられるため  
お位牌に御礼のお拝をされました

○十一時半 壇信徒総回向





本堂においてこの人数での食事の席は初めてだったので、  
役員様のご尽力により皆さまでお祝い頂きました。

○十一時半 祝膳  
本堂にて全員でお祝いのお膳をいたしました。

謝辞を述べる  
総代 室谷允一様



参列いただいた御寺院、壇信徒のみなさま、ありがとうございました。

### 「あとがき」

この度は、皆さま、「協力のもと、晋山式が無事成就いたしましたこと、改めて感謝申し上げます。壇信徒のみなさまに少しでも当日の内容を「報告できれば」と思い、今回作成いたしました。

祖父でもある先々代、道光民弥大和尚が遷化し、約十三年。遺意でもあつたこの当山住職にこれほどまでに早く就くことが出来ましたことは、壇信徒みなさまの支え合つてのことと、肝に命じる次第であります。

後にはなりましたが、総代各位、長楽寺晋山式実行委員会の方々には多大なるご尽力を頂きましたこと、深く感謝申し上げます。

平成十八年十一月

瑞樹合掌

**如意山 長樂寺**

電話 079-551-1544  
FAX 079-550-1451

兵庫県篠山市郡家四九二